



青南だより

平成31年4月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜爽やかな風に桜の花びらが舞う園庭＞

平成に代わる年号が「令和」に決まりました。その響きからは春のさわやかな風もイメージされますが、春休み中に満開を迎えた桜の花が、今はひらひらと園庭に舞う季節となりました。次の時代も、平和で豊かな時代になることを祈ります。ところで、二十四節気の4月・卯月の最初は「清明」です。万物が清らかで生き生きとした様子を示した「清浄明潔」を由来とする季節です。自然豊かな園庭で、今年も自然からの贈り物をたくさん見付けられるとすてきですね。

＜小さなことにも心を留める＞

「青南を みんなの 心のふるさとに～心の根っこを育てよう～」は、私の園経営におけるキーワードです。そして今年度は、そこに、小さなことにも「心を留める」ことを具体的な行動目標として示したいと思います。例えば、靴を丁寧に脱ぎ履きすること、席を離れるときに椅子を引くことなど、日常の何気ない行動を丁寧にすることが、遊びや生活を豊かにすると考えるからです。人と心を通わせる挨拶も、ちょっと心を留めてできれば、きっとよい人間関係が深まることでしょう。

＜新たな一年もどうぞよろしくお願いします＞

この春、青南幼稚園は大きな人事異動がありました。新たな仲間を迎え、昨年までの積み重ねの上に、全教職員が互いに支え合いながら各自が力を発揮し、子どもたちの育ちを促していきたいと思います。そのためには、保護者の皆さんとの連携が欠かせません。コミュニケーションを密にし、小さなことにも心を留めながら、大切にしてきたことは守っていきます。一方で働き方改革も行い、常によりよい方向に向けた改善も進めていきます。一年間、どうぞよろしくお願いします。



小満とはまさにこの新緑の勢いを示します



豊かな自然が子どもたちの遊びを誘い出します



いろいろな花が入園進級を祝っています



みみくんも、みんなが来るのを待っています



わくわく池にはオタマジャクシがいっぱい！

・・・卯月（うづき）・・・

青南の
二十四節気

清明（5日）… 園庭の花が鮮やかな彩りを見せます …

穀雨（20日）… 草木の緑が一気に伸びていきます …

都会でも、道端に咲く可憐な花などに出会う機会はたくさんあります。港区は意外と自然が豊かです。勤務する園の自然や季節の移ろいを「二十四節気」に合わせてお知らせし続け、10年を越えました。身近な自然の変化に気付く心は、子どもの心のサインに気付く感性を磨くことにもなると思い、続けているコラムです。「青南の二十四節気」も3年目を迎えます。この小さなコラムが、皆さんの身近な自然の変化に思いを寄せるきっかけになれば幸いです。